



特集

LGWAN-ASPについて

LGWANは、すべての地方公共団体を相互に接続する行政専用のセキュアなネットワークであり、行政事務の効率化・迅速化、重複投資の抑制及び住民サービスの向上を目的として運用されています。地方公共団体がLGWANに接続することで利用できるアプリケーションは、大きく分けて次の三つになります。

- ・ LGWAN運営協議会が提供するLGWAN 掲示板サービスやLGWAN メーリングリストサービス等の基本アプリケーション・サービス
- ・ LGWAN-ASPサービス提供者が提供するLGWAN-ASPサービス
- ・ 霞が関WANの利用機関である府省が地方公共団体向けに提供するサービス

今回は、LGWANの特性を活かし、地方公共団体向けに多種多様な行政サービスを提供するLGWAN-ASPについて説明します。

1 LGWAN-ASPの目的

(1) 目的

LGWAN-ASPは地方公共団体のIT化促進、標準

的なシステムの導入及び運用の経済性を実現することを目的として活用されています。LGWAN-ASPにより、品質及びサービスレベルの高いアプリケーションやリソース等を地方公共団体間で共同利用

することができるようになります（図－1）。

(2) 定義

LGWAN-ASPは、図－2のとおり一般的なASPとは異なったサービス形態を採っています。一般的なASPの形態は、IDC等のデータセンター施設に設置したサーバ上に構築されたアプリケーションを、事業者との契約に基づいてインターネット等の回線を介してアクセスし利用しています。利用者はWebブラウザとインターネット接続環境を整えることでアプリケーションを利用することがで

図－1 LGWAN-ASPの目的

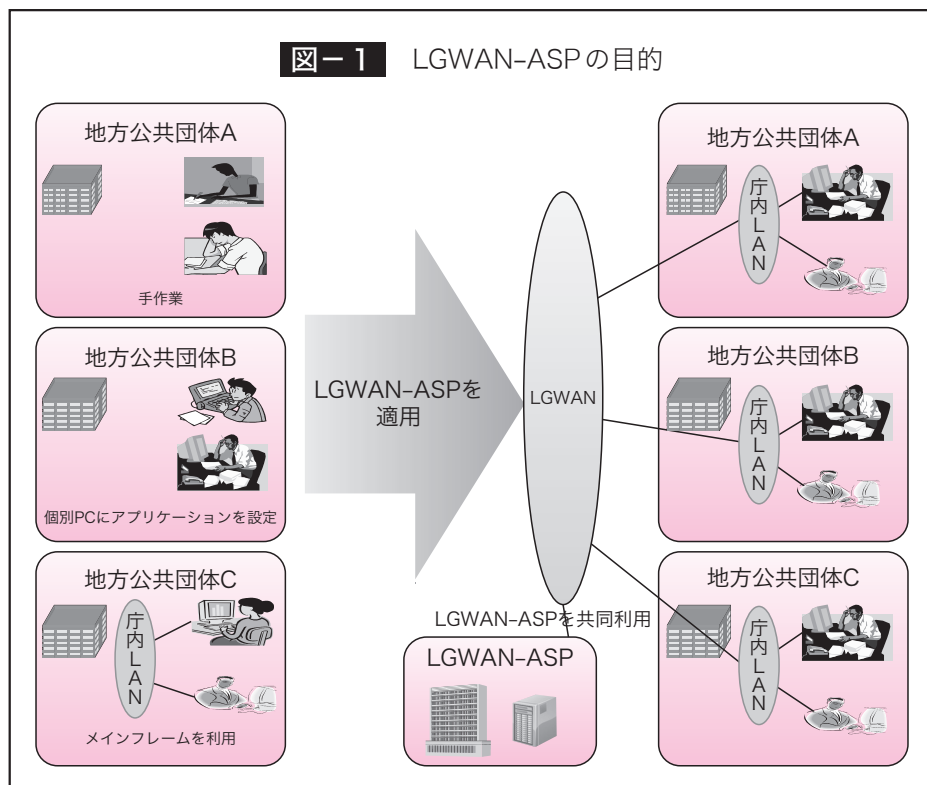
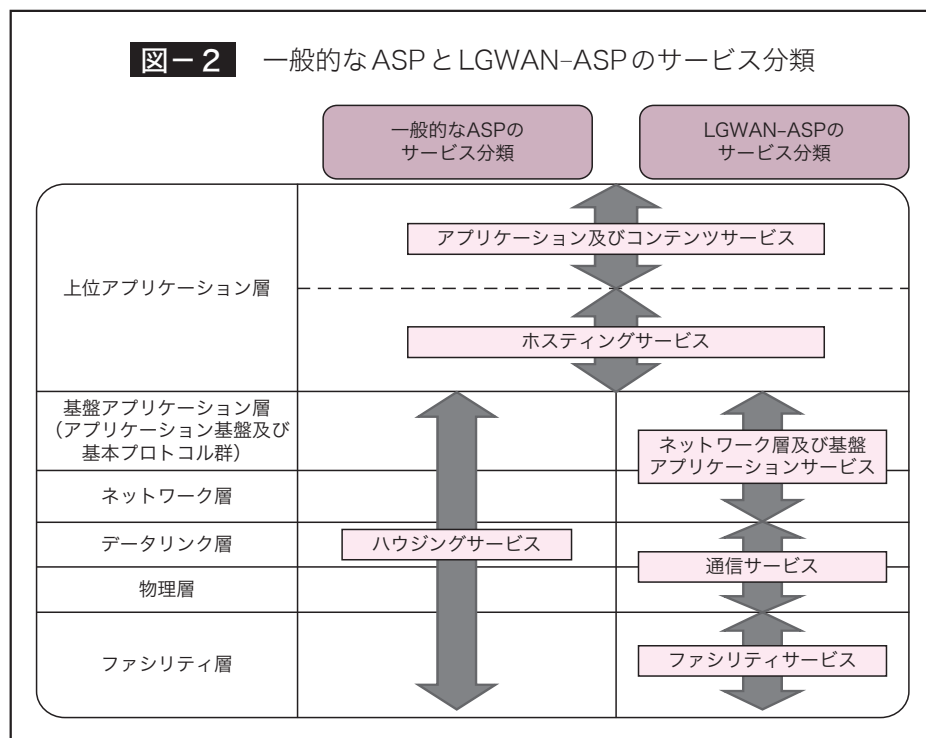


図-2 一般的なASPとLGWAN-ASPのサービス分類



において、ユーザー側での準備を必要としないことから、SaaSに分類することができ、図-3のように表すことができます。また、ホスティングサービス事業者から見ますと、必要な下位層の機能は、通信サービスやファシリティサービスを利用することで、自らの負担を軽減することが可能となります。

LGWAN-ASPは、図-2の右側及び図-3の左側で示す五つのサービスから構成されています。

・アプリケーション及びコン

テンツサービス

各種アプリケーションや情報コンテンツを提供しています。LGWAN参加団体が利用します。

・ホスティングサービス

アプリケーションが稼働するサーバ機器を提供すると共に、運用管理を行います。アプリケーション及びコンテンツサービス提供者が利用します。

・ネットワーク層及び基盤アプリケーションサービス^{※4}

IPアドレス、ドメイン管理、基本プロトコル群（HTTP等）及びアプリケーション基盤（認証基盤、ディレクトリ基盤、公証基盤及びLGWAN電子文書交換システム）を提供します。LGWAN参加団体、LGWAN-ASPサービス提供者が利用します。これは、LGWAN自身がサービスするものです。

・通信サービス

ホスティングサービスの構成機器をLGWANに

き、クライアントごとのインストールや管理、アップグレードにかかる費用などの負担を軽減することができます。また、これに加えて、サーバリソースの提供を行うホスティングサービスや、IDC等のデータセンター施設を利用したハウジングサービスも広義のASPと考えられています。

これに対してLGWAN-ASPは、ファシリティ層から上位アプリケーション層に至る各層ごとに細分化したASPサービスを提供しています。これは一般的なASPとは異なる概念であり、各層ごとにサービスへの参加が可能であることを意味しています。

また、近年、進展が見られるいわゆる「クラウド・コンピューティング」で用いられるサービス形態のSaaS^{※1}、PaaS^{※2}、IaaS^{※3}との比較を、アプリケーション及びコンテンツサービスの利用者から見てみると、LGWAN-ASPはネットワーク、ハードウェア、OS、ミドルウェア、アプリケーションのすべてに

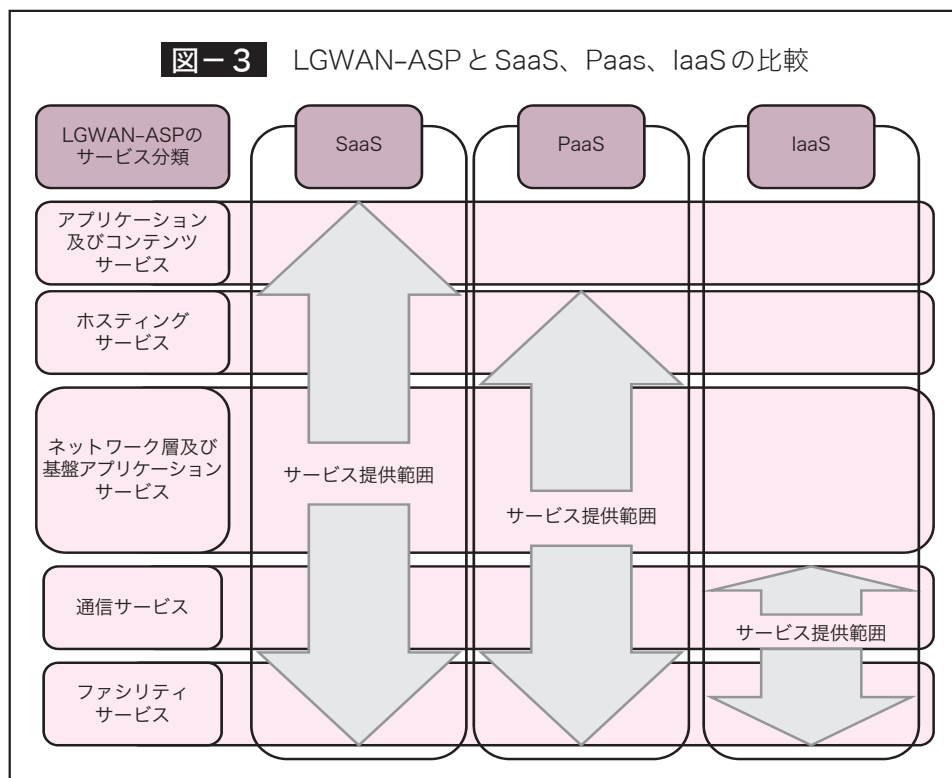
※1 Software as a Serviceの略。アプリケーションをサービスとして提供します。

※2 Platform as a Serviceの略。アプリケーションを稼働させるための基盤（プラットフォーム）をサービスとして提供します。

※3 Infrastructure as a Serviceの略。サーバ、CPU、ストレージなどのインフラをサービスとして提供します。

※4 このサービスは総合行政ネットワーク運営主体が担っています。

図-3 LGWAN-ASPとSaaS、PaaS、IaaSの比較

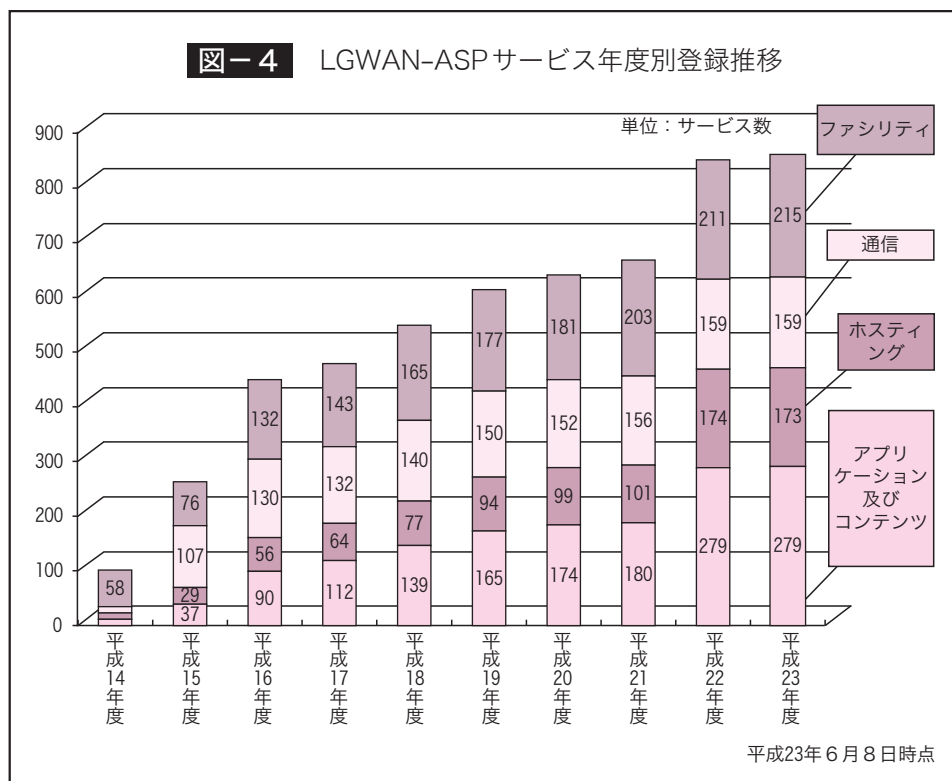


ホスティングサービスを構成する機器の設置スペース、また、そこでの電源、空調などの設備を提供します。ホスティングサービス提供者が利用します。

LGWANが担う「ネットワーク及び基盤アプリケーションサービス」を除いたLGWAN-ASPサービスの年度ごとの登録数は、図-4に示すとおり年々増加傾向にあります。

2 アプリケーションサービスの種類

図-4 LGWAN-ASPサービス年度別登録推移



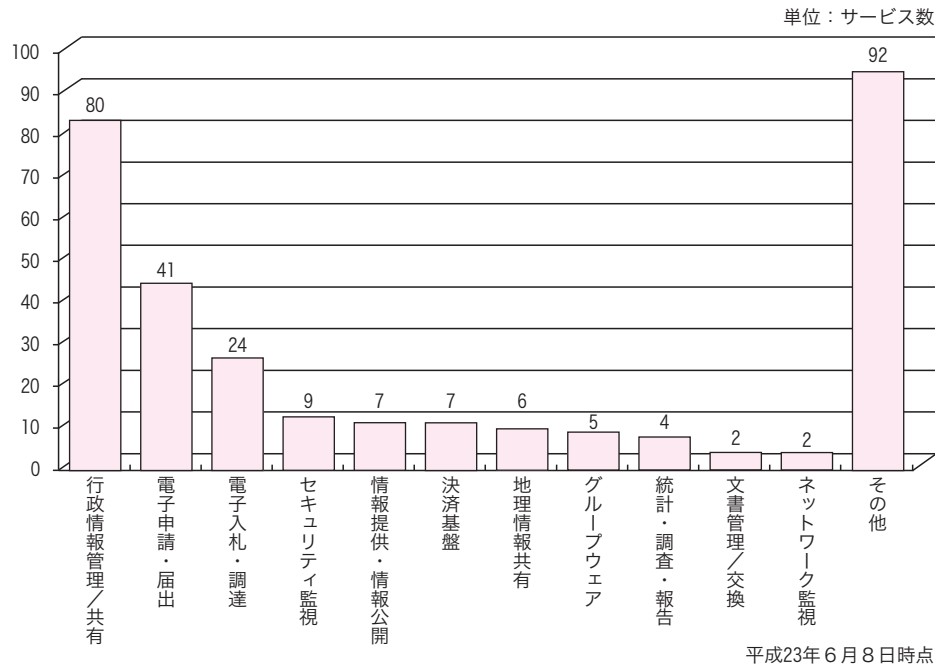
現在、府省、地方公共団体、民間企業などから地方公共団体の業務の効率化を目的としたアプリケーション及びコンテンツサービスが提供されています。アプリケーション及びコンテンツサービスは、電子申請・届出、電子入札・調達、情報提供・情報公開、文書管理・交換、行政情報管理・共有、地理情報共有（いわゆるGIS）、統計・調査・報告、グループウェア、決裁基盤、ネットワーク監視、セキュリティ監視のサービスに分類できます。図-5

接続する専用回線を提供します。ホスティングサービス提供者が利用します。

・ファシリティサービス

で示すように、行政情報管理・共有や電子申請・届出の分野で特に利用されています。

図-5 アプリケーション及びコンテンツサービスのシステム分野別登録状況



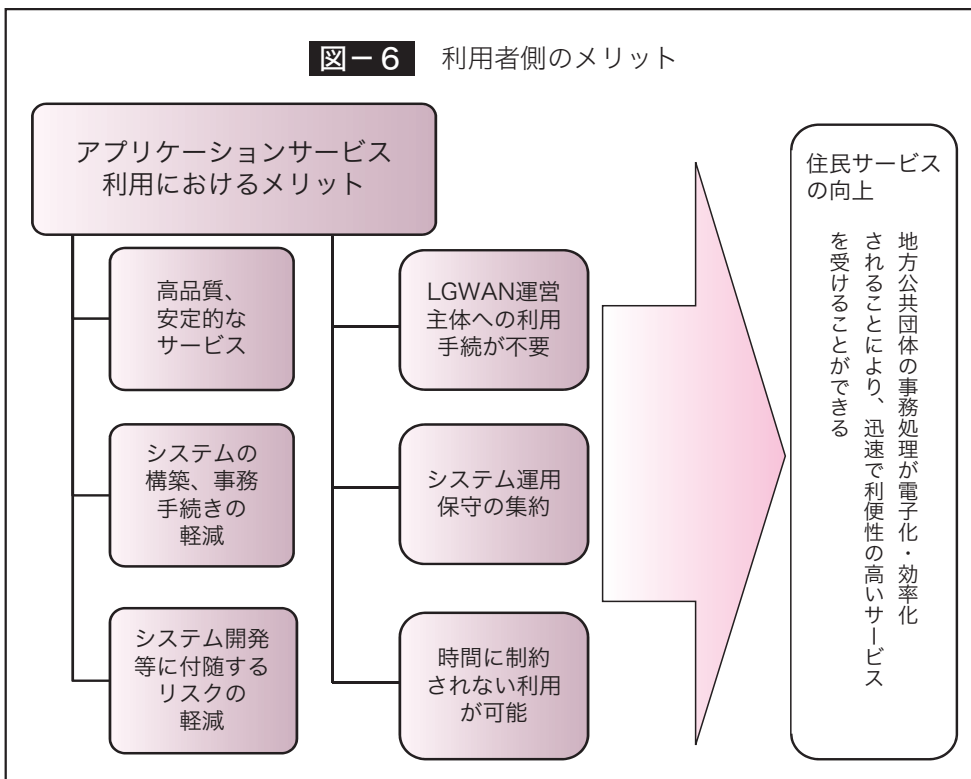
とにより、次の効果が期待できます。

- ①システム開発・維持及び運用に係る費用、時間、労働、資源の軽減と、それらに付随するリスクの軽減
- ②システム構築に必要な物品調達やリース契約等の事務手続きからの解放
- ③品質が高く、機能が充実した安定的なサービスの利用
- ④セキュアで年中無休のネットワーク基盤により、時間に制約されない利用

その他の例として、地方公共団体の庁内情報基盤管理者にとっては、運用保守の集約化・軽減化が可能となり、管理作業の効率化が期待されます。

このように、地方公共団体における業務の効率化・迅速化が図られ、また、住民・企業等に対する行政サービス窓口も一本化され、さらには、時間と距離の制約を超えた利用を実現するなど住民の利便性が高まり、住民

図-6 利用者側のメリット



サービスの向上へとつながります（図-6）。

3 利用者のメリット

LGWAN 参加団体はLGWAN-ASPを利用するこ

図-7 アプリケーション及びコンテンツサービスの利用方法

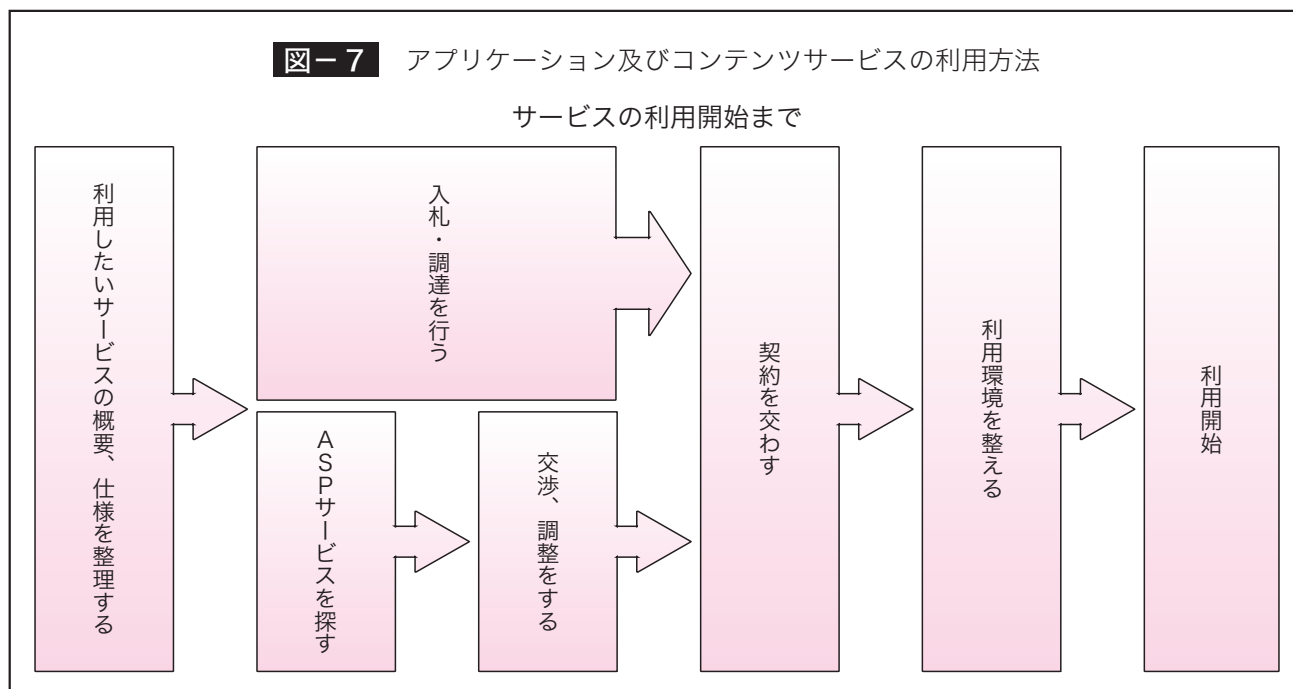


図-8 LGWAN-ASPのサービスリスト



利用約款などに基づき、契約を交わすことで当該サービスを利用できるようになります。サービス利用までの流れは、図-7のとおりです。利用に当たっては、アプリケーション及びコンテンツサービス提供者に直接問い合わせください。なお、提供者の問い合わせ先については図-8のWeb画面の「アプリケーション及びコンテンツサービス」から確認できます。

(2) サービスの探し方

LGWAN-ASPサービスはインターネット上の地方自治情報センターホームページのサービスリスト ([https://www.lasdec.](https://www.lasdec.or.jp/cms/15,0,41.html)

[or.jp/cms/15,0,41.html](https://www.lasdec.or.jp/cms/15,0,41.html)) から提供地域別に検索することができます。

アプリケーション及びコンテンツサービスでは、サービス分類別に検索することもできます。ぜひ一度ご覧になってください。

4 サービス利用方法

(1) 利用方法

LGWAN-ASPサービスの利用を希望する地方公共団体は、LGWAN-ASPサービス提供者が定める

5 LGWAN-ASP 今後の動向

現行のLGWANは、整備拡充第2段階として、平成17年から19年にかけて整備されたものです。主要機器の5年リースの期間が平成23年に満了することを見据えて、全面的な見直しを実施し、第三次LGWANとして、新たなネットワーク基盤を平成24年度に稼働します。第三次LGWANにおいて、LGWAN-ASP向けに挙げられる特筆点は、次の2点になります。

- ・利用率の増加に対応したLGWANバックボーン回線の増強
- ・通信プロトコルの規制緩和

なお、LGWAN-ASPに接続するためには、現在LGWAN-ASP接続設備を整備する必要があります

が、第三次LGWANではよりコストを抑えた設備に変更した仕様になる予定です。そのため、LGWAN-ASPサービス提供者の経費削減にも寄与するものと期待されます。また、LGWAN-ASP接続料金についても、LGWAN資源の利用に応じた負担という観点で見直しを行う予定で検討を進めています。

今後は、自治体クラウド等により基幹業務の分野でLGWAN-ASPが一層利用されることが予想されますが、第三次LGWANでは、サービスが最大限に活用されるよう、これまでどおりの高いセキュリティを確保しつつ、より柔軟性に富んだネットワーク基盤として活用されるよう安定運用に努めていきます。

LGWAN-ASPサービス接続／登録状況（平成23年7月20日現在）

LGWAN-ASPサービス提供者の接続／登録状況は次のとおりです。

■アプリケーション及びコンテンツ	登録 282件	■ホスティング	接続 174件
■通信	登録 163件	■ファシリティ	登録 217件

接続／登録済のLGWAN-ASPサービス提供者のリストは、下記URLに掲載しております。

<http://www.lasdec.or.jp/cms/15,0,41.html>